

住民 支え合い マップ

ボランティア・地域活動コーディネーター力養成講座第7回

木原孝久先生をお迎えして住民で支えあうための
極意を学びました。

—長野市内外から45名の皆さんが参加！—

第一部 講義

「ご近所パワーで助け合いお越し」と題して今なぜ助け合いが必要なのか、助け合うためにはどうしたらいいのかを全国のさまざまな事例から学びました。次に、「支えあいマップとはなにか？」についての講義。マップ作りの主役はご近所内の人、マップづくりは井戸端会議の再現…など、個人情報への壁を乗り越えてこそマップ作りの真意が見えてくる！

東京の多摩市では、男性の高齢者の一人暮らしばかりが多いんだよね。なんでだと思ってる？



結婚していないから？



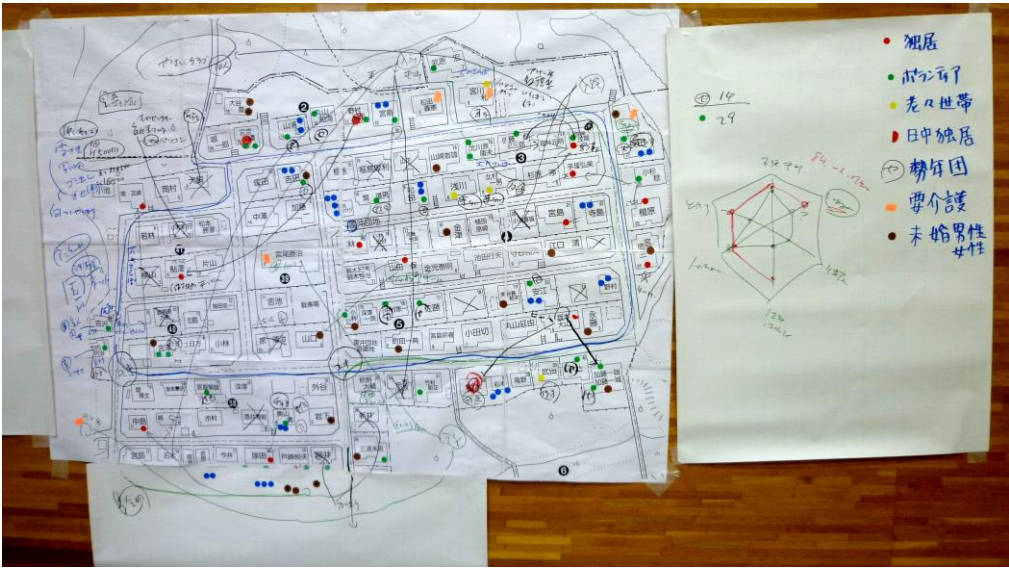
住民福祉総合研究所
所長 木原孝久氏

前日は、奈良、その前日は鹿児島県霧島市で講座を行って、この日長野へ。次の日は福井へいくという超ハードスケジュール！今地域では、支えあいが求められている。そのためにもこのマップ作りが欠かせない。



第二部 マップ作りのデモンストレーション

長野市内の安茂里園沖の皆さんに協力していただき、マップ作りを行いました。園沖の世話焼きさんの4名の方々です。先生の鋭い質問に次から次へと地区の実情が浮き上がっていきました。



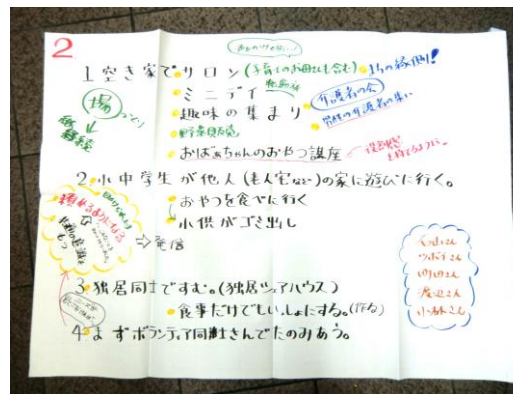
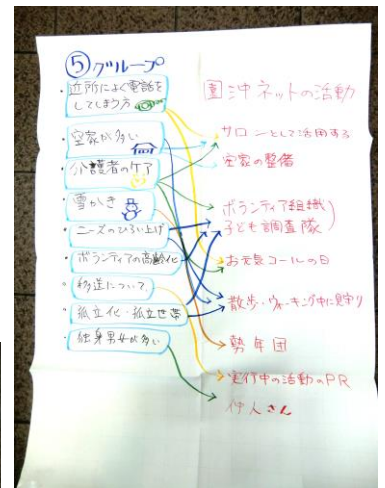
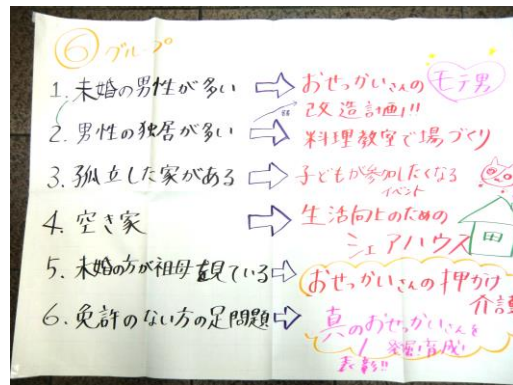
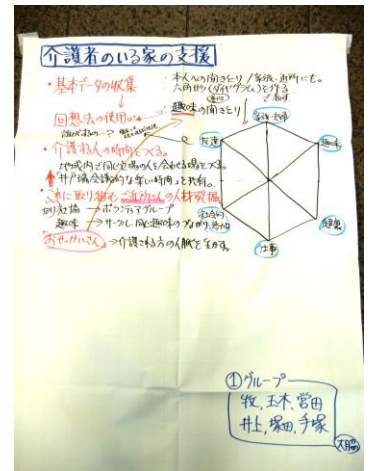
マップ上に現れたのは、

- ・ 独居高齢者
- ・ ボランティア
- ・ 老老世帯
- ・ 日中独居
- ・ 働き世代の集まり勢年団
- ・ 要介護者、介護者
- ・ 子ども
- ・ 未婚男性、女性
- ・ 空家問題

そこから見えるさまざまな課題が浮き上がったのです。第3部は、その課題に対してどう取り組むかについてのグループワークです。

第三部 取組課題についてのグループワーク

マップに現れた課題に対してどうしていくか、ここを考えることが大事。マップは作っておしまいものではないことがこれをする中でより明確になった。



各グループで話し合った内容を発表しシェアします。出た課題に対してそれぞれどんなことをすれば解決できるのかさまざまなアイデアが出せれました。課題を組み合わせる方法など斬新なアイデアに園沖のみなさんも釘づけに。



今日ここで学んだことを地域へ活かします。出た課題はどこの地区でも考えられるようなことばかりです。木原先生の「死にそうに生きているのはだめだよ」「サービスや制度が整えば整うほど近所力はなくなる」「何でも包括に相談に行けばいいと思っている。大きな間違いだ！包括に相談してはいけない」「詮索好きにならなければ助け合いなんてできないよ」「ガンガン、攻撃的におせっかいを！」「助け合いはドロドロしてるんだよ」「サービス入れないつながらない」「やってあげるでは力がなくなる、やんなさいよからはじまる」木原語録炸裂の熱い一日となりました。さあ、皆さんマップやりましょう！